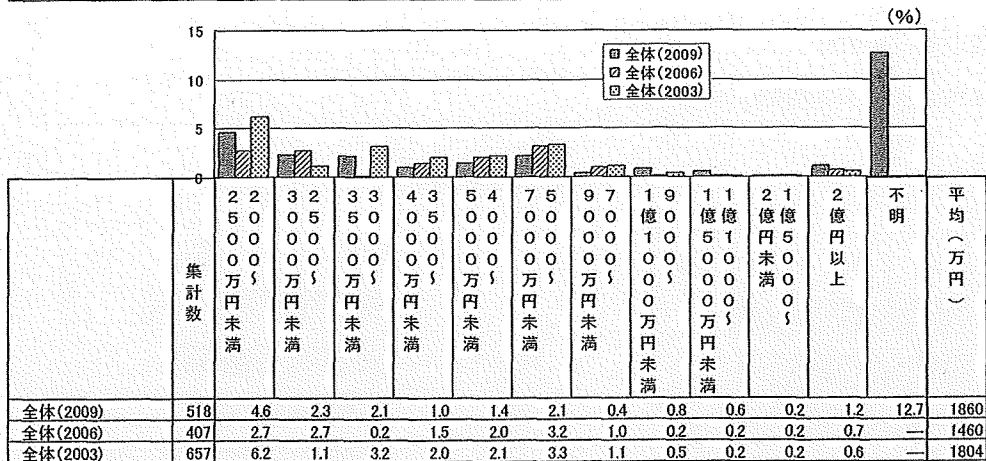
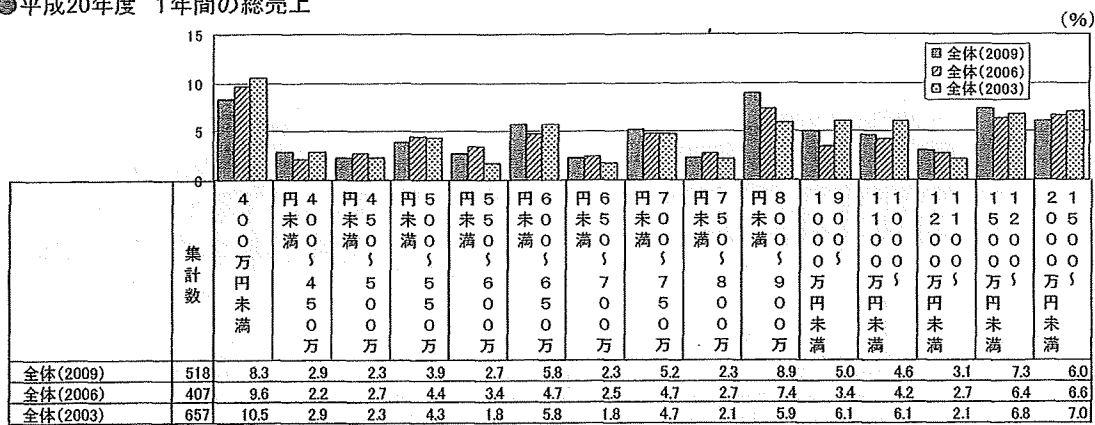


Ⅲ. 売上と経費

1. 歯科技工所の総売上(除:金属代) (自-問11)

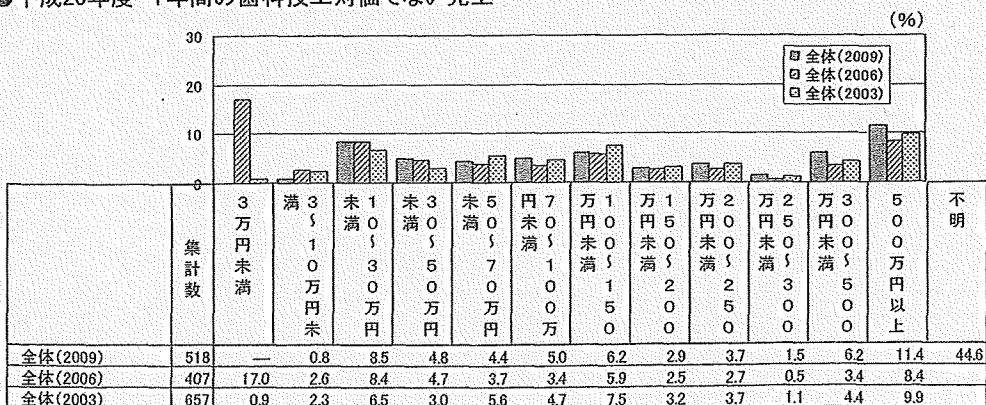
●金属代を除いた平成20年度1年間の総売上の平均は1868万円であった。個人では1068万円、法人では5906万円となっている。
 ●総売上の平均は06年調査の総売上より上昇した。

●平成20年度 1年間の総売上



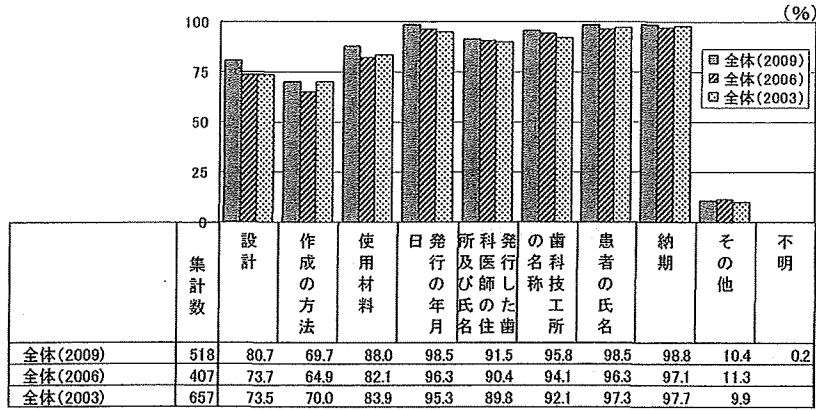
●歯科技工対価でない売上の平均は397万円であり、過去調査結果と比べると大きく増加している。

●平成20年度 1年間の歯科技工対価でない売上



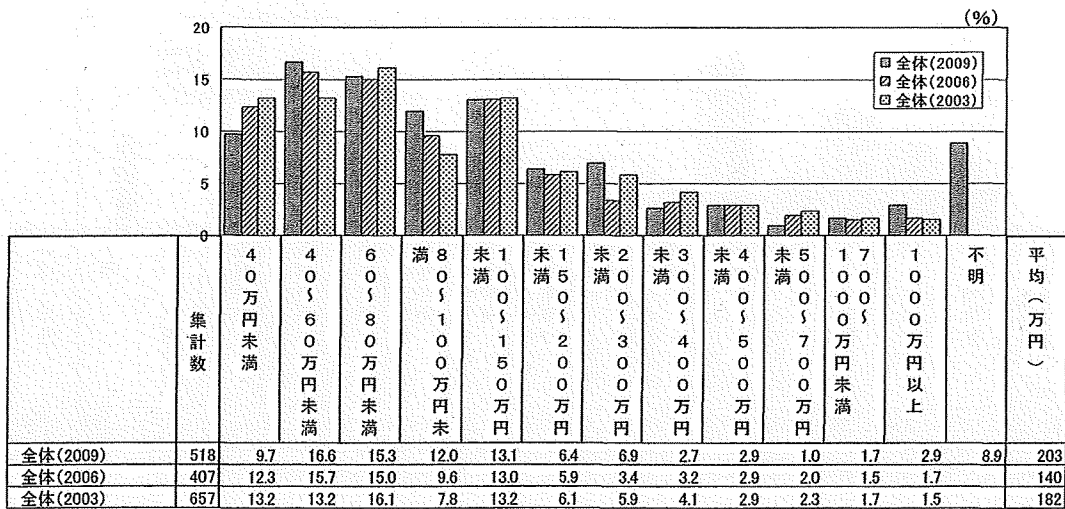
2. 歯科技工指示書の記載事項（自-問7）

●過去調査と比較すると、ほとんどの項目で割合は上回っており、記載状況は改善の方向にあるが、省令で規定した記載事項を満たしていない。



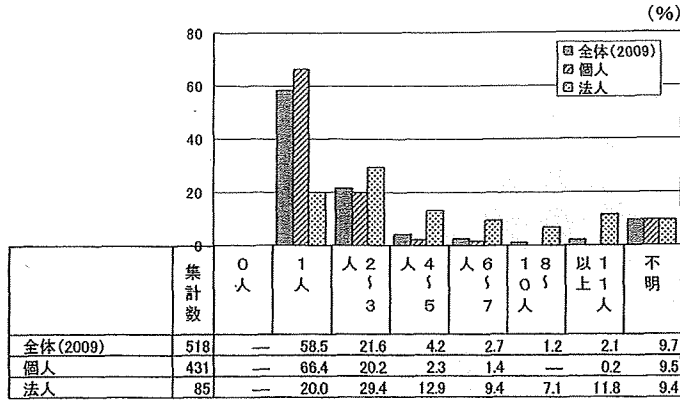
3. 1ヶ月の歯科技工所の売上合計(平成21年度6月期)（自-問13）

●平成21年度6月期における1ヶ月間の売上高の平均は203万円であった。過去2回の調査結果と比較すると、もっとも高い。



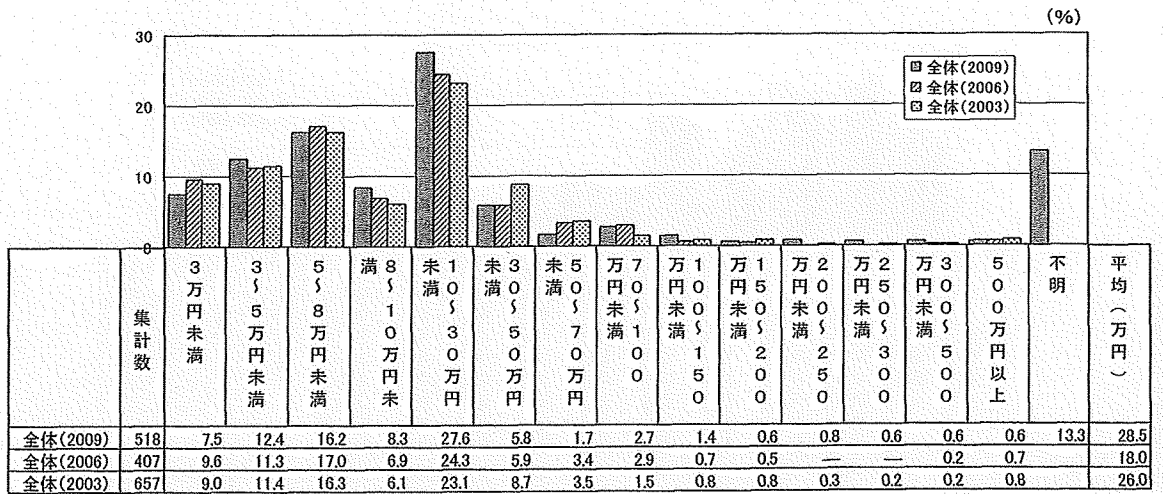
4. 歯科技工士の1日平均稼働人数(平成21年度6月期) (自-問13-1)

●歯科技工士1日の平均稼働人数は「1人」がもっとも多く、6割近くを占める。



5. 1ヶ月の材料費(平成21年度6月期) (自-問13-2)

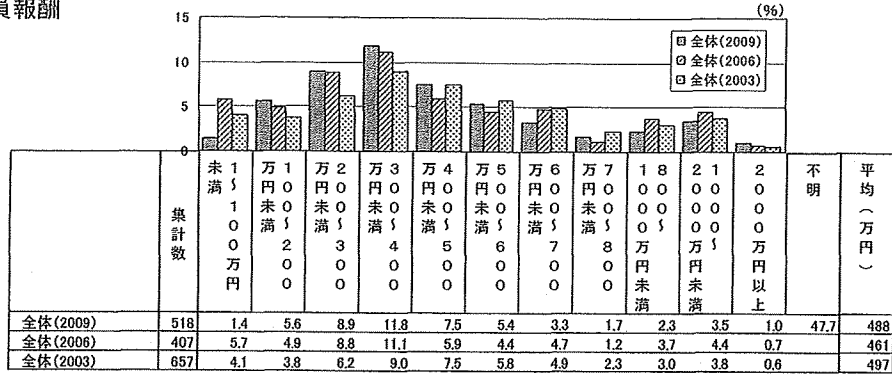
●1ヶ月の材料費の平均額は28.5万円であり、平均額は過去2回の調査結果を上回る。
●過去の調査よりも上昇しているが、平均売上高に占める割合はいずれの年でもほぼ一定している。



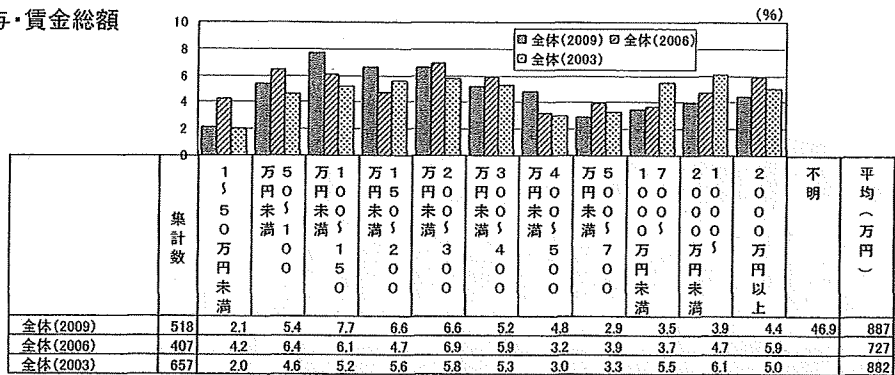
6. 年間経費 (自-問12)

●平成20年度の年間経費の費目別平均額は役員報酬488万円、給与・賃金総額887万円、消耗品費234万円、租税公課51万円であった。

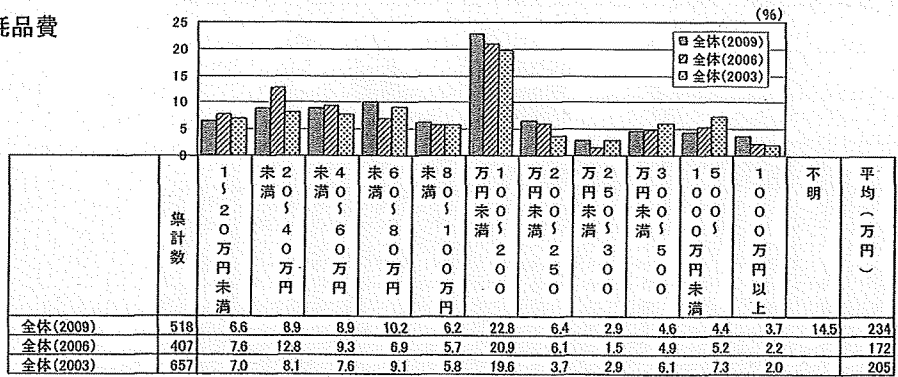
●役員報酬



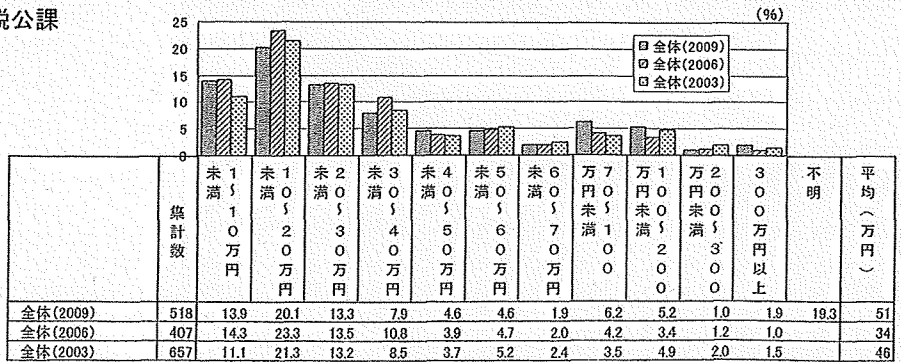
●給与・賃金総額



●消耗品費



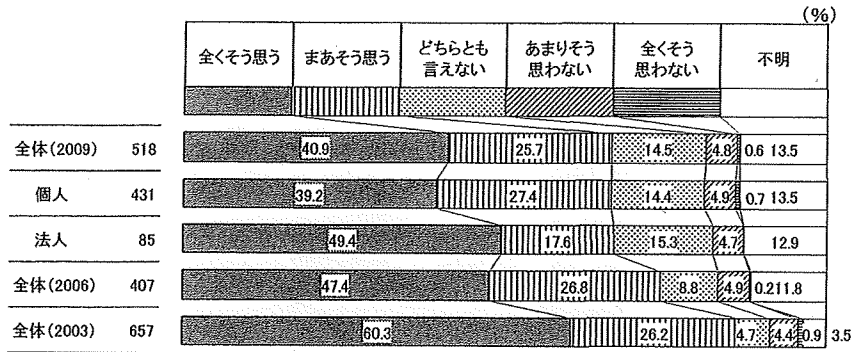
●租税公課



IV. 歯科技工料金について

1. 歯科技工料金の低廉化 (自-問16)

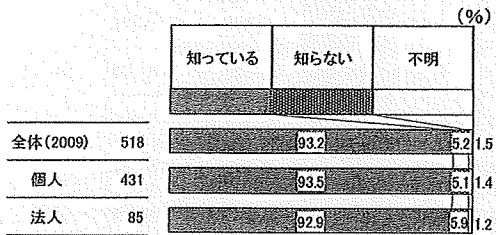
- 歯科技工料金の低廉化については、「まあそう思う」まで含めると、3分の1の事業所が低廉化の現状を感じている。
- 低廉化については、03年では86.5%、06年では74.2%が“そう思う”としており、今回調査では低廉化を感じる事業所は減少している。



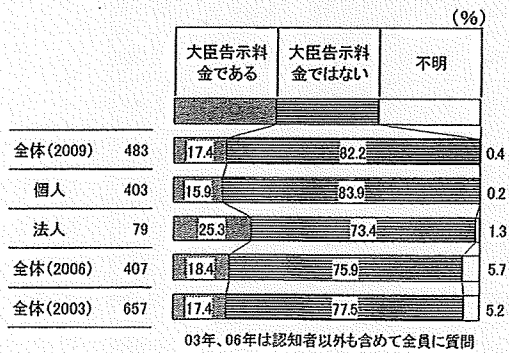
2. 大臣告示料金の採用 (自-問14)

- 歯科技工料金のいわゆる大臣告示(製作点数の70%)を「知っている」事業所は93.2%であるが、「知らない」事業所も5.2%存在している。
- 大臣告示料金を確保している事業所の割合は17.4%に過ぎず、8割超は「大臣告示料金ではない」としている。
- 「大臣告示料金である」とした事業所は個人(15.9%)に比べると、法人事業所でその割合が9ポイント程度高い。

●大臣告知の認知



●告示料金の採用状況



3. 製作歯科技工料について(保険内) (自-問15)

●対象歯科技工士数加重平均(保険内)

< 保険内 >	集計数	70% 料金 (円)	最頻値 (円)	歯科技工 士数加重 平均金額 (円)	中間帯金額(円)	
					下端 (10%)	上端 (10%)
インレー (単純)	867	1,270	1,000	1,126	900 ~	1,300
インレー (複雑)	884	1,930	1,500	1,483	1,059 ~	1,925
3/4冠	805	2,590	2,000	2,103	1,500 ~	2,590
4/5冠	848	2,170	2,000	2,022	1,500 ~	2,300
全部鑄造冠	905	3,120	2,000	2,435	2,000 ~	3,000
硬質レジン前装鑄造冠	899	8,220	6,000	6,055	4,500 ~	8,000
鑄造ポンティック	899	3,000	3,000	2,601	2,000 ~	3,000
金属裏装ポンティック	603	5,240	2,500	3,812	2,400 ~	5,240
硬質レジン前装鑄造ポンティック	816	8,220	5,500	6,063	4,500 ~	8,200
レジン床有床義歯 1歯~4歯	777	3,780	3,000	3,090	2,400 ~	3,780
レジン床有床義歯 5歯~8歯	781	4,660	4,000	4,073	3,000 ~	5,000
レジン床有床義歯 9歯~11歯	779	6,230	6,230	5,578	4,050 ~	6,704
レジン床有床義歯 12歯~14歯	774	9,100	9,100	7,604	5,302 ~	9,100
レジン床有床義歯 総義歯	753	14,350	10,000	10,733	7,500 ~	14,350
熱可塑性樹脂有床義歯 1歯~4歯	380	4,940	5,000	4,975	4,000 ~	6,000
熱可塑性樹脂有床義歯 9歯~11歯	373	8,300	10,500	8,580	7,400 ~	10,500
熱可塑性樹脂有床義歯 総義歯	350	19,950	20,500	17,332	13,500 ~	20,500
鑄造双歯鉤 (金バラ)	629	1,570	2,000	1,619	1,200 ~	2,000
鑄造双歯鉤 (ニッケル・コバルトクロム)	624	1,570	2,000	1,664	1,300 ~	2,000
鑄造両翼鉤 (金バラまたは貴金属)	685	1,460	1,500	1,370	1,100 ~	1,660
鑄造両翼鉤 (ニッケル・コバルトクロム)	673	1,460	1,500	1,438	1,200 ~	1,700
線双歯鉤	741	1,400	1,500	1,348	1,000 ~	1,700
線両翼鉤 (レスト付)	805	980	1,000	963	750 ~	1,270
線両翼鉤 (レスト無)	779	840	800	817	600 ~	1,000
屈曲バー (特殊鋼)	686	1,680	1,500	1,749	1,300 ~	2,500
鑄造バー (ニッケル・コバルトクロム)	715	2,940	3,000	3,051	2,500 ~	3,500

3. 製作歯科技工料について(保険外) (自-問15)

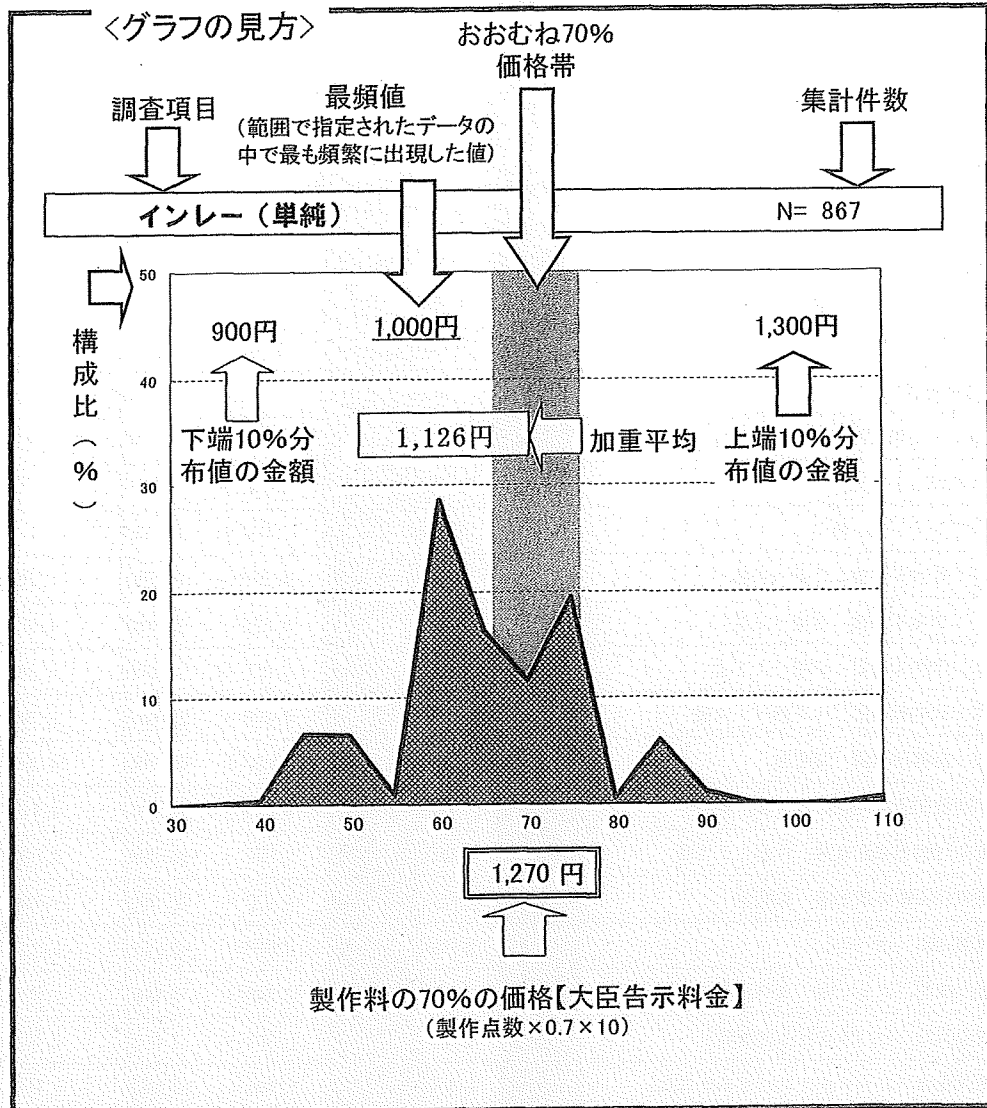
●対象歯科技工士数加重平均(保険外)

<保険外>	集計数	最頻値 (円)	歯科技工 士数加重 平均金額 (円)	中間帯金額(円)		参考値 70%料金 (円)
				下端 (10%)	上端 (10%)	
インレー(単純)	569	3,000	2,977	1,600 ~	4,100	1,270
インレー(複雑)	618	3,000	4,310	2,000 ~	5,060	1,930
3/4冠	562	5,000	4,596	2,700 ~	6,950	2,590
4/5冠	559	5,000	4,640	2,800 ~	6,520	2,170
全部鑄造冠	985	5,000	5,014	3,440 ~	6,300	3,120
硬質レジン前装鑄造冠	494	8,000	8,365	6,000 ~	10,000	8,220
鑄造ボンテック	416	5,000	4,978	3,000 ~	6,300	3,000
金属裏装ボンテック	375	7,000	6,057	3,140 ~	9,500	5,240
硬質レジン前装鑄造ボンテック	426	8,500	8,135	6,000 ~	10,000	8,220
メタルボンダー外	714	12,000	12,719	10,000 ~	15,000	
ハイブリッド型-外	681	9,000	9,167	7,000 ~	11,000	
レジン床有床義歯 1歯~4歯	403	6,000	9,662	4,050 ~	15,200	3,780
レジン床有床義歯 5歯~8歯	402	14,000	12,163	5,520 ~	20,000	4,660
レジン床有床義歯 9歯~11歯	405	11,000	12,777	7,200 ~	17,000	6,230
レジン床有床義歯 12歯~14歯	403	20,000	16,336	9,700 ~	24,000	9,100
レジン床有床義歯 総義歯	411	23,000	21,347	12,000 ~	44,430	14,350
熱可塑性樹脂有床義歯 1歯~4歯	65	6,000	10,936	5,000 ~	23,000	4,940
熱可塑性樹脂有床義歯 9歯~11歯	65	11,000	17,476	9,000 ~	35,000	8,300
熱可塑性樹脂有床義歯 総義歯	65	18,000	24,953	17,000 ~	40,000	19,950
鑄造双歯鉤(金バラ)	262	5,000	3,648	2,000 ~	5,000	1,570
鑄造双歯鉤(ニッケル・コバルトクロム)	280	3,800	3,492	2,200 ~	5,000	1,570
鑄造両翼鉤(金バラまたは貴金属)	271	2,500	2,759	1,800 ~	4,000	1,460
鑄造両翼鉤(ニッケル・コバルトクロム)	304	2,500	2,502	1,800 ~	3,000	1,460
線双歯鉤	223	2,500	2,482	1,500 ~	3,300	1,400
線両翼鉤(レスト付)	231	3,100	2,196	1,047 ~	3,100	980
線両翼鉤(レスト無)	222	2,300	1,929	1,000 ~	2,800	840
屈曲バー(特殊鋼)	125	2,500	2,883	1,515 ~	4,000	1,680
鑄造バー(ニッケル・コバルトクロム)	288	6,000	8,794	4,000 ~	15,000	2,940

3. 製作歯科技工料について（自-問15）

●対象歯科技工士数加重平均

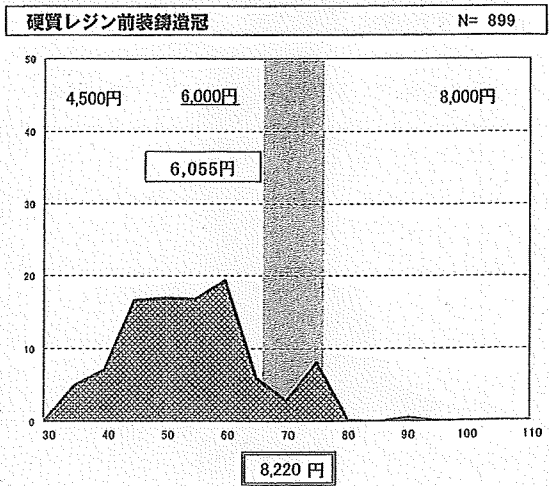
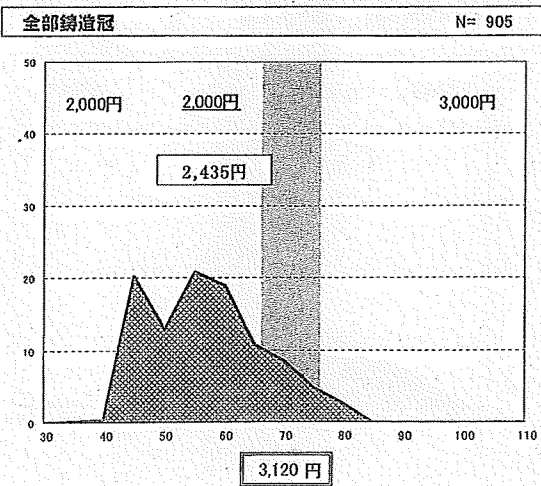
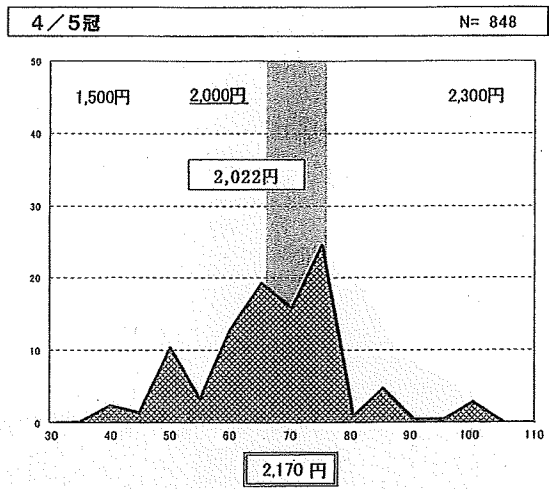
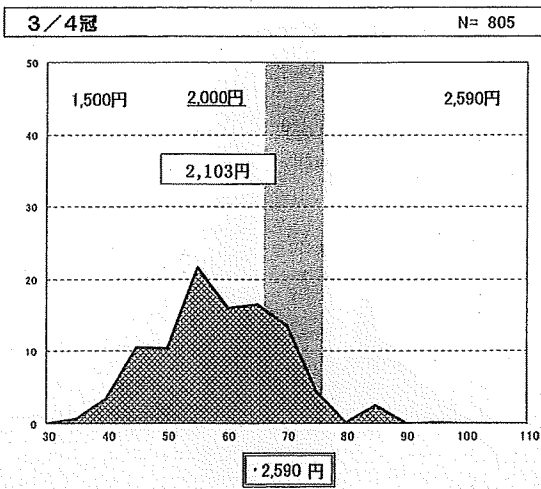
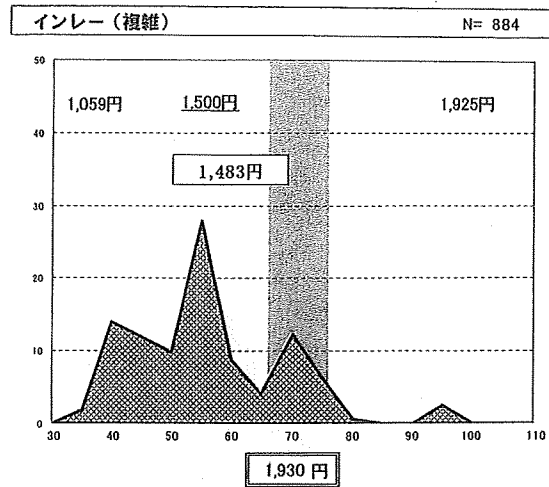
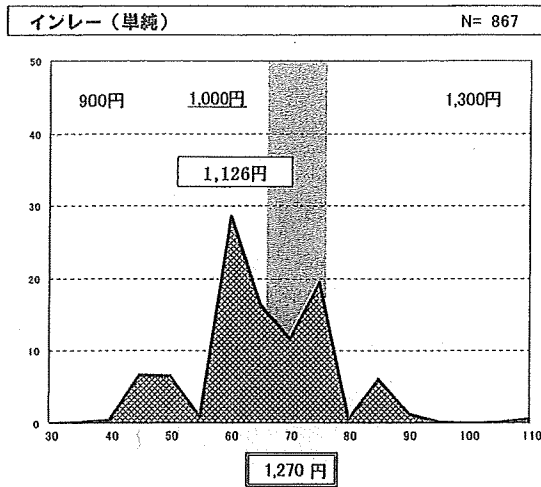
回答のあった歯科技工所の金額を、そこに勤務する歯科技工士の数に当てはめて、1歯科技工士を〔1単位〕として平均する。
供給量を考慮した平均。



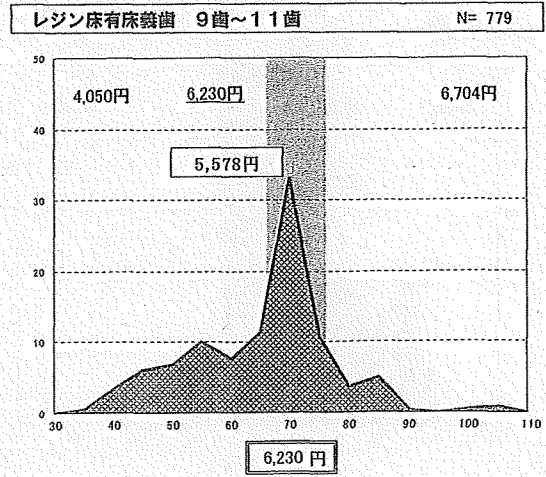
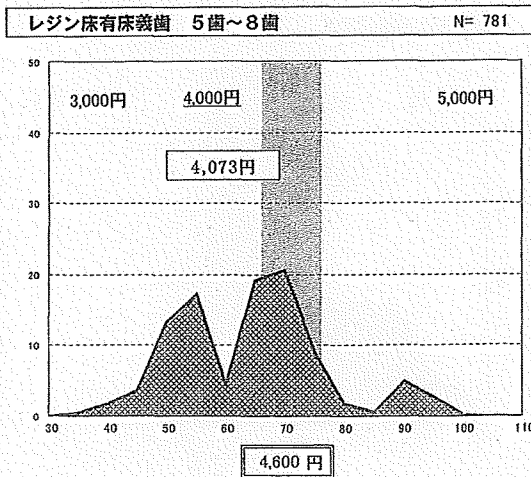
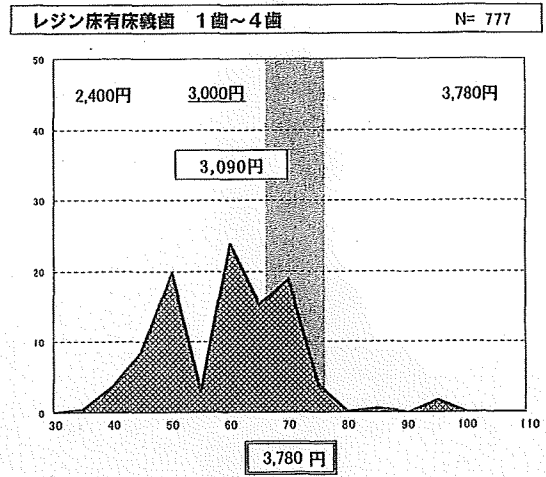
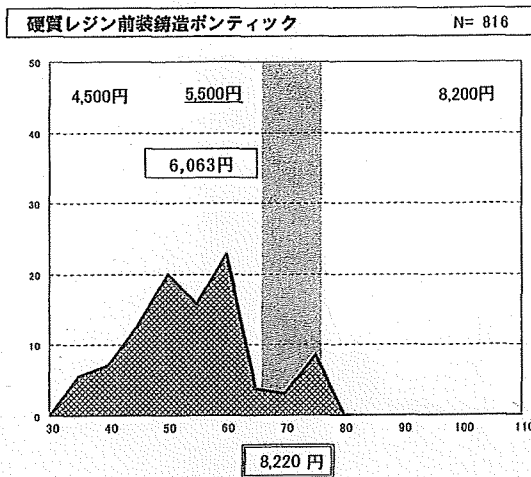
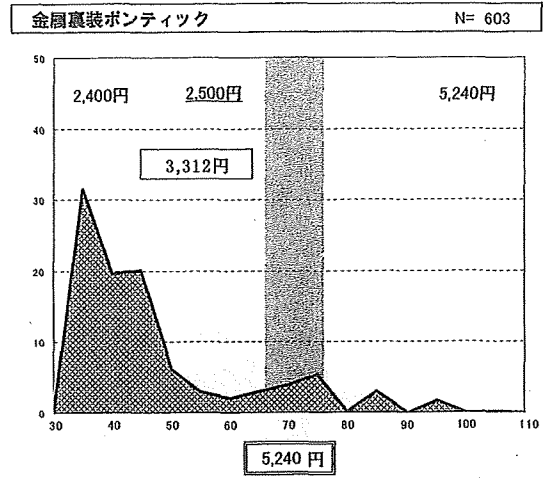
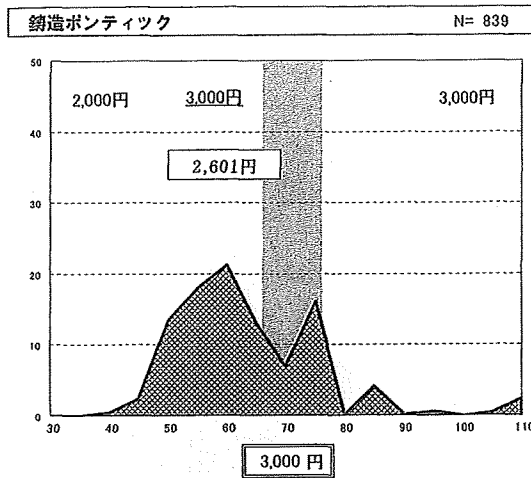
※最頻値とグラフピークの関係について最頻値が必ずしもグラフのピークとなることはありません。
グラフの山は70%料金、80%料金等のようなある一定の範囲の集まりですから、最頻値以外の値の割合が少なければ、最頻値を含む範囲であってもグラフの山は一番大きくならない場合があります。

※製作料（製作点数）平成21年4月歯科診療報酬点数表に基づく。

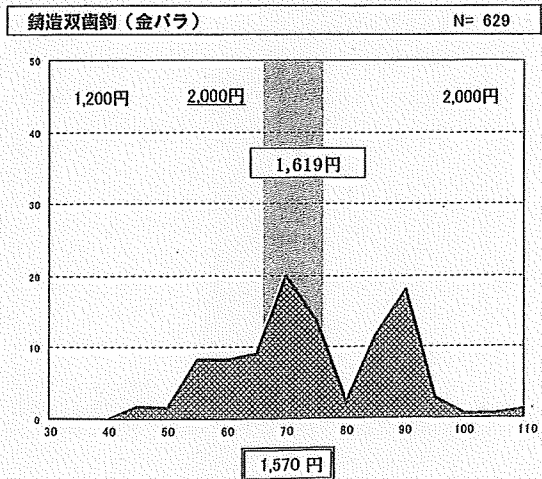
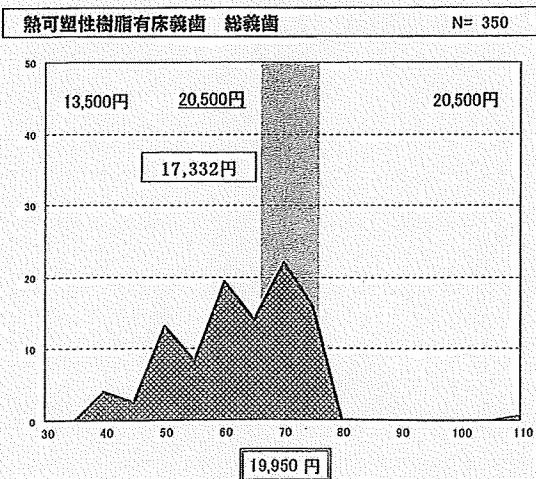
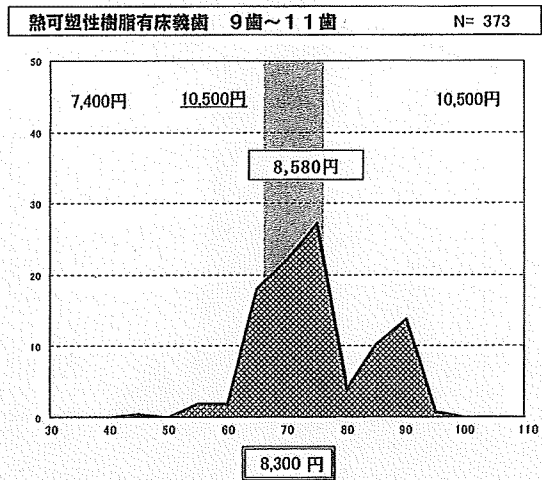
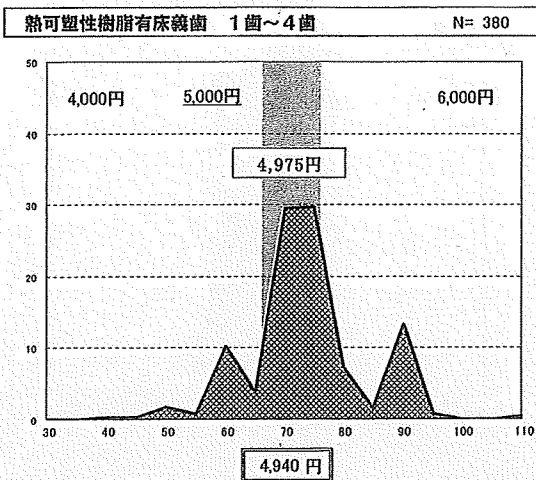
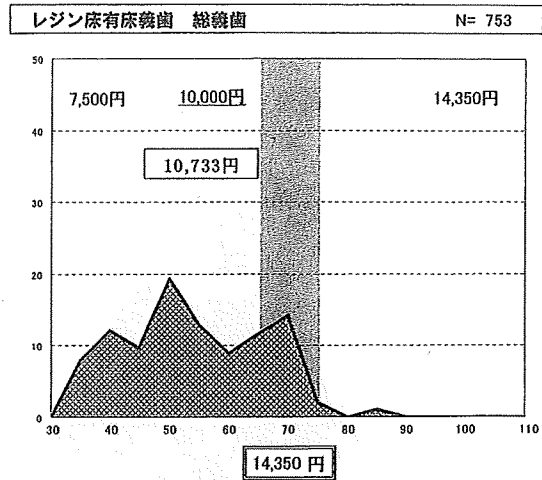
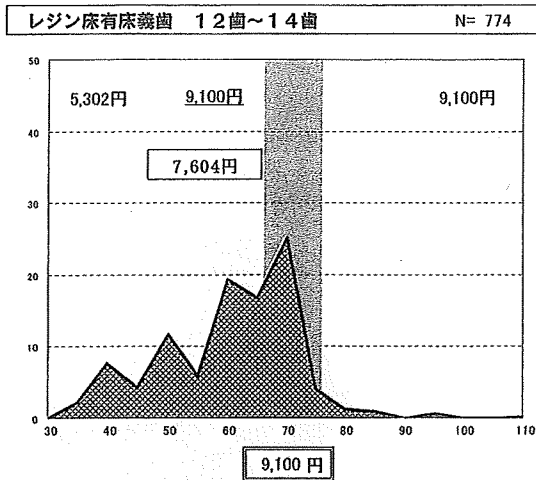
3. 製作歯科技工料について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)



3. 製作歯科技工料について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

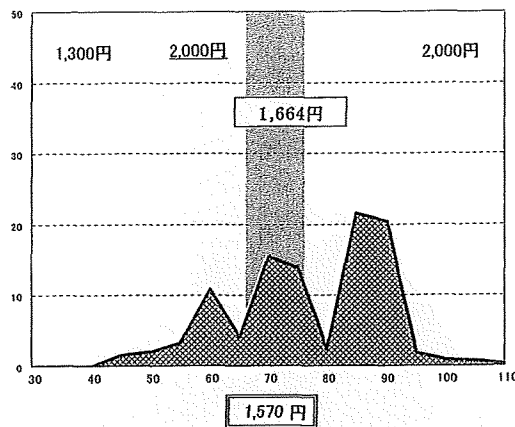


3. 製作歯科技工料について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

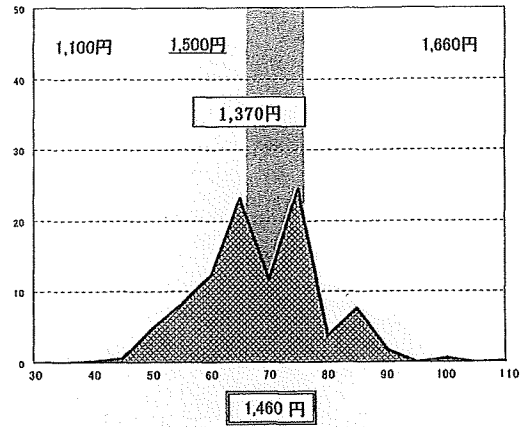


3. 製作歯科技工料について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

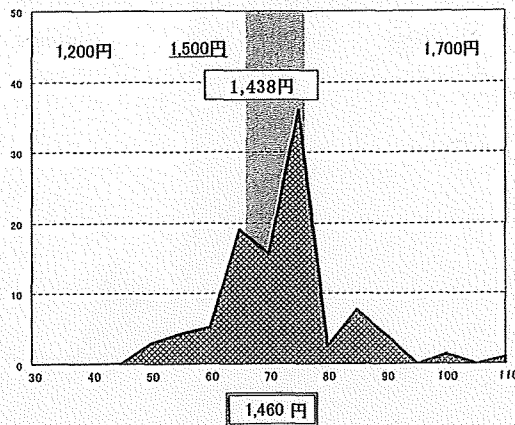
鑄造双歯鈎 (ニッケル・コバルトクロム) N= 624



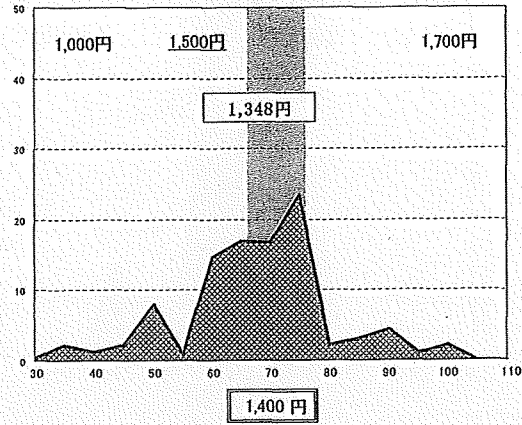
鑄造両翼鈎 (金バラまたは貴金屬) N= 685



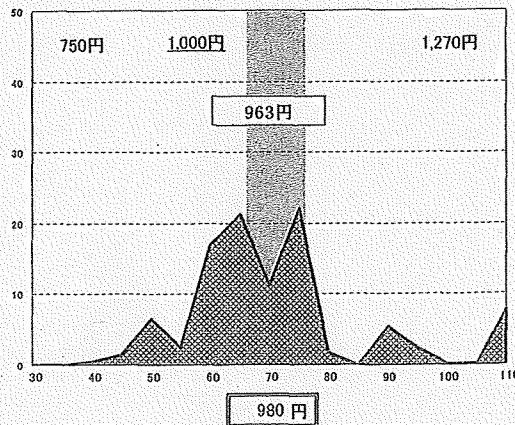
鑄造両翼鈎 (ニッケル・コバルトクロム) N= 673



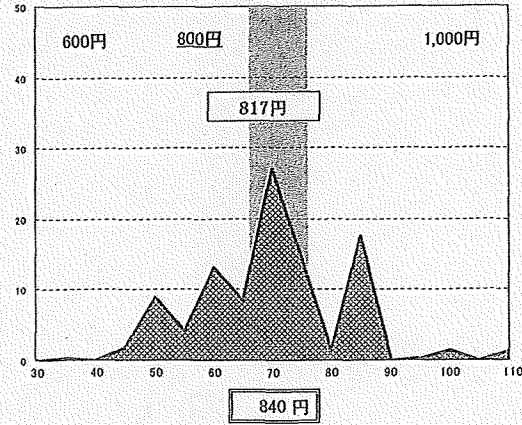
線双歯鈎 N= 741



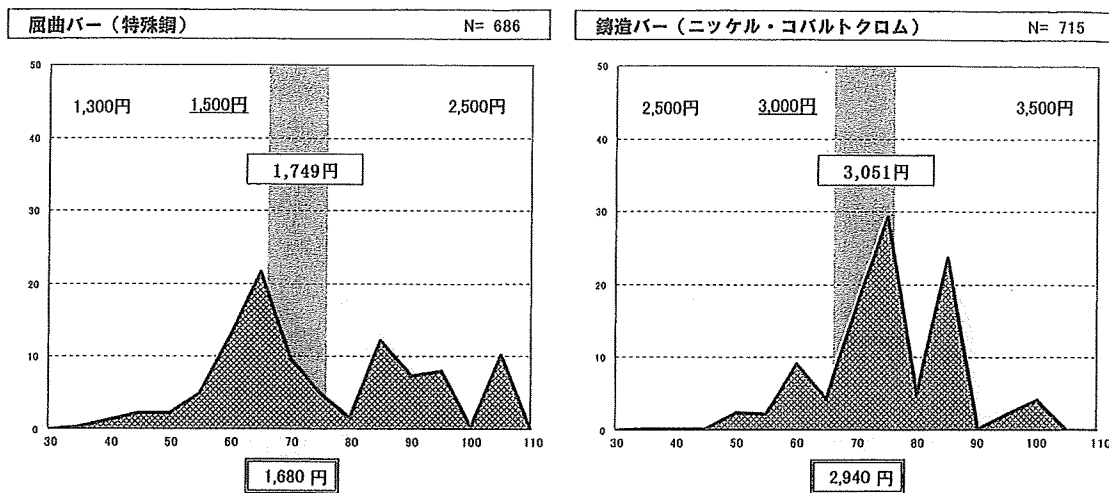
線両翼鈎 (レスト付) N= 805



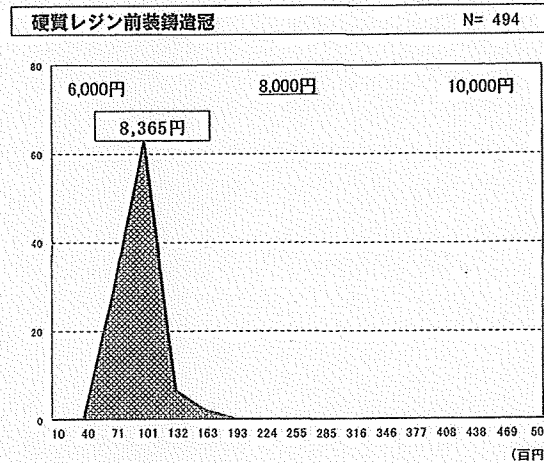
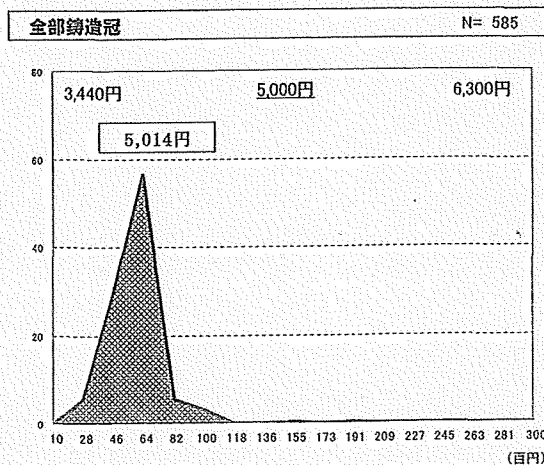
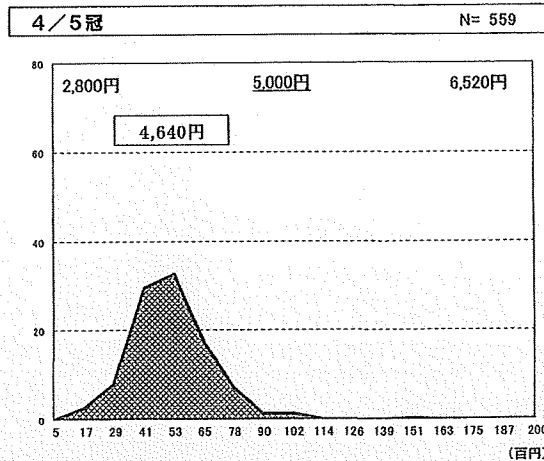
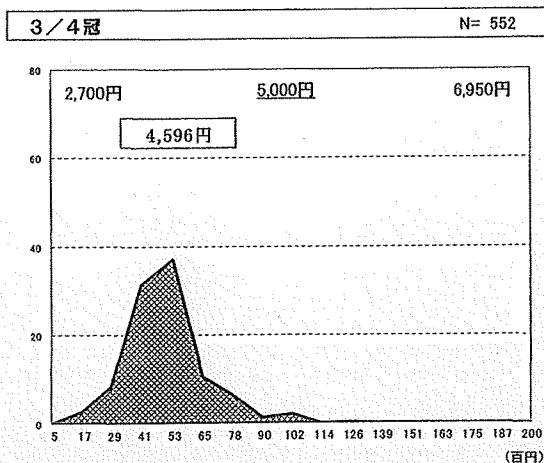
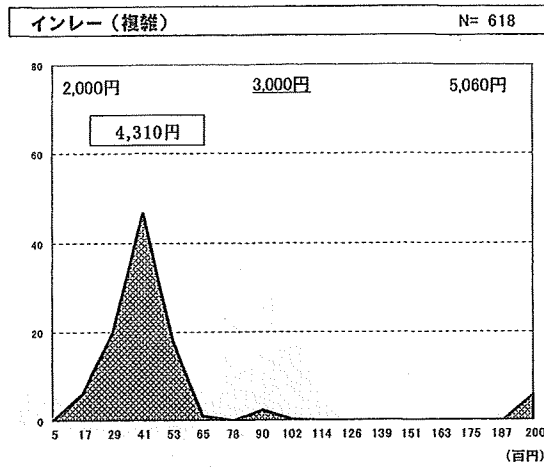
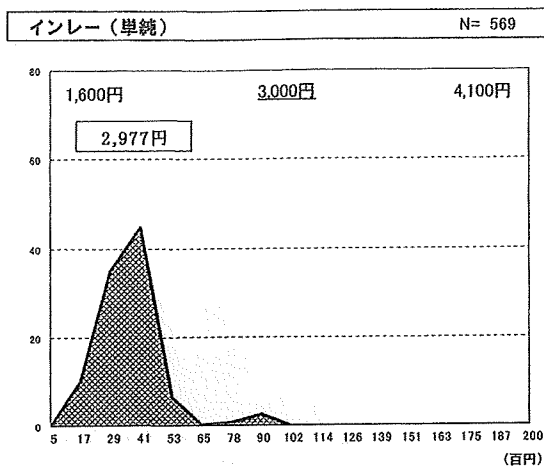
線両翼鈎 (レスト無) N= 779



3. 製作歯科技工料について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

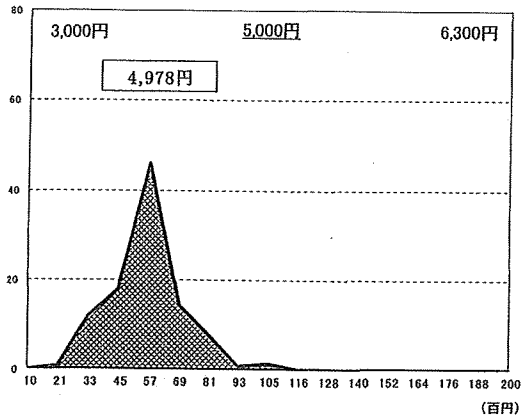


3. 製作歯科技工料(保険外)について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

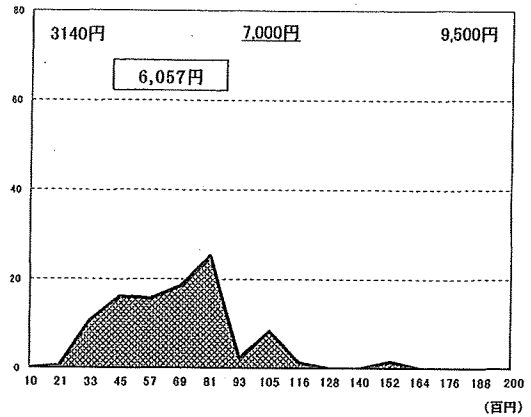


3. 製作歯科技工料(保険外)について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

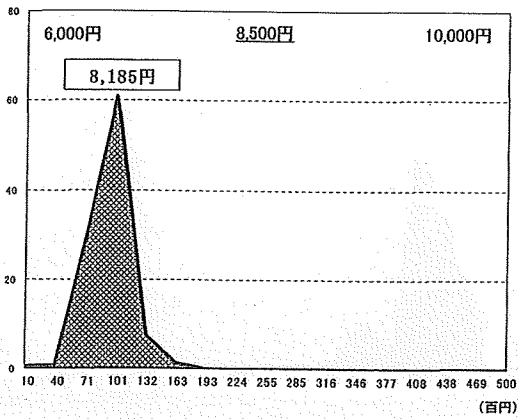
鑲造ポンティック N= 416



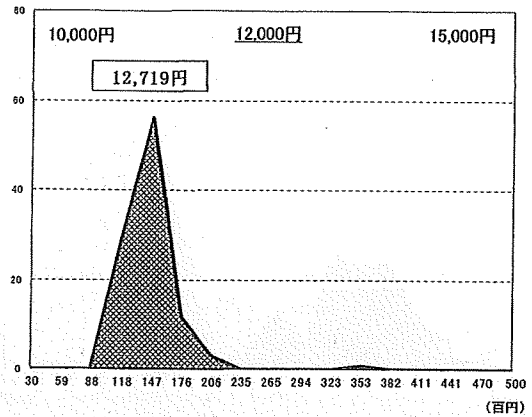
金属裏装ポンティック N= 375



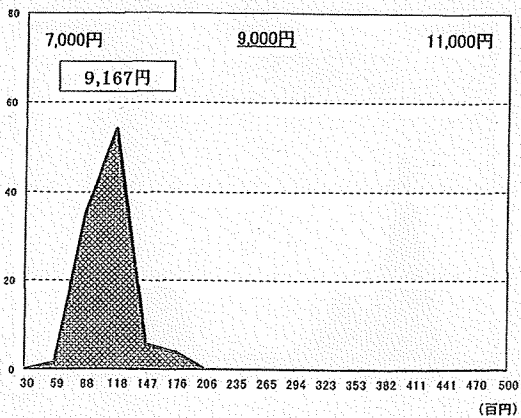
硬質レジン前装鑲造ポンティック N= 426



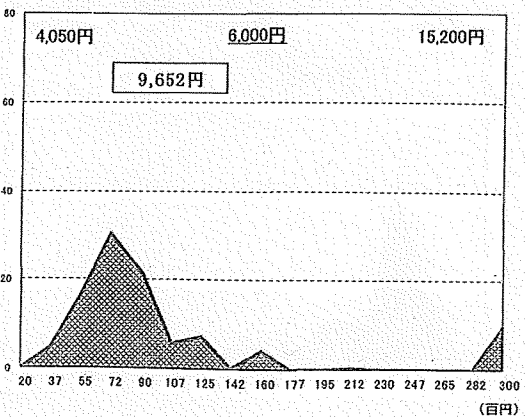
メタルバンド N= 714



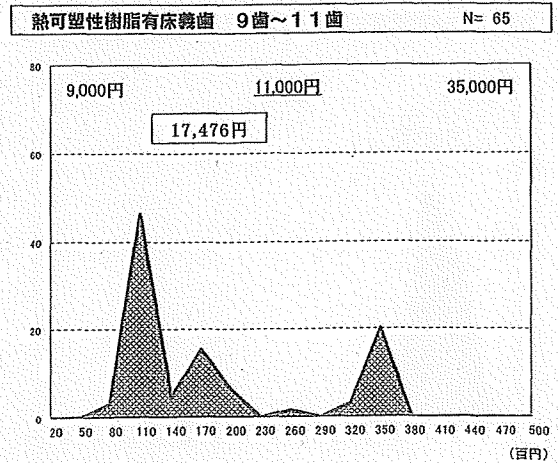
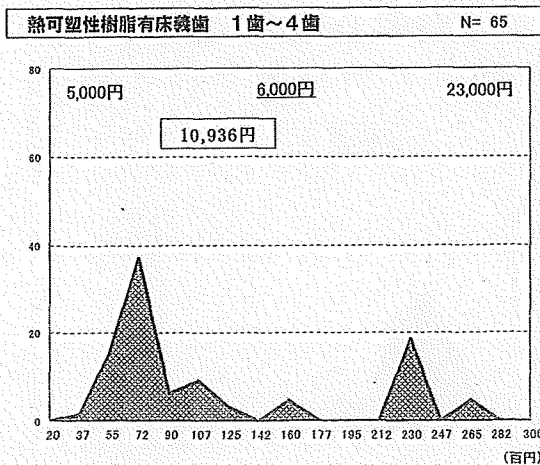
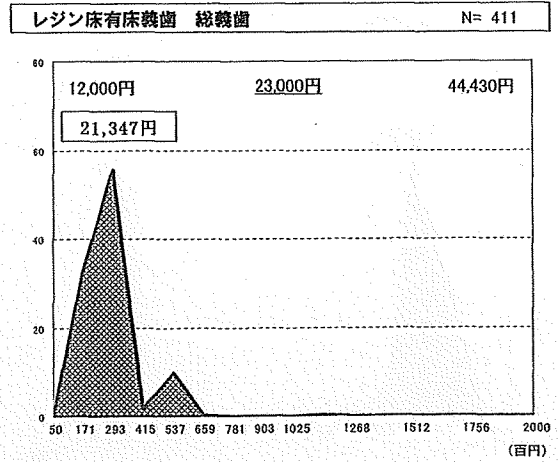
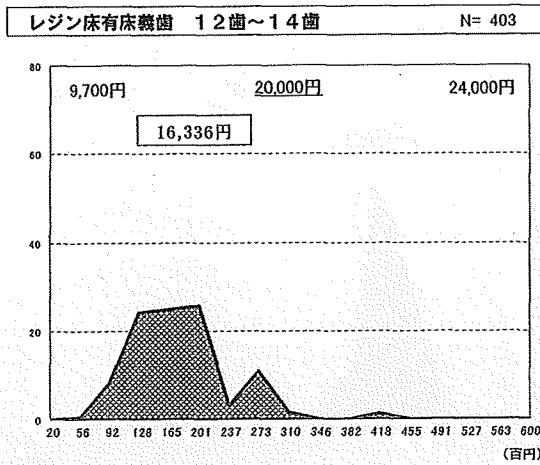
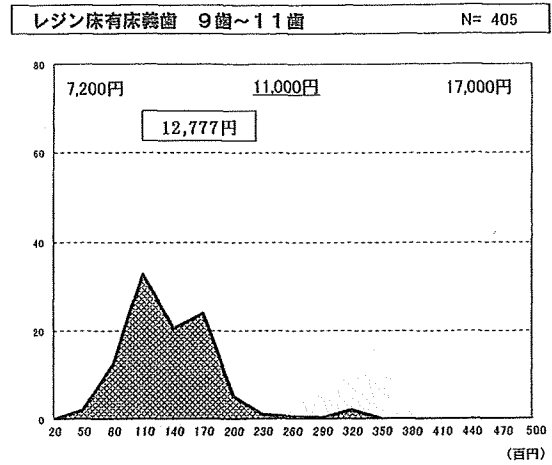
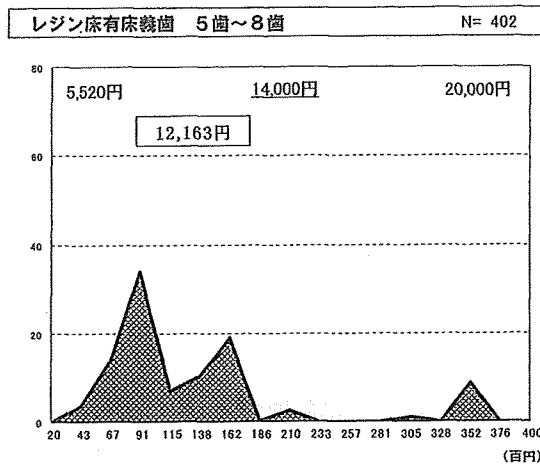
ハイブリッド型硬質レジン前装鑲造冠 N= 681



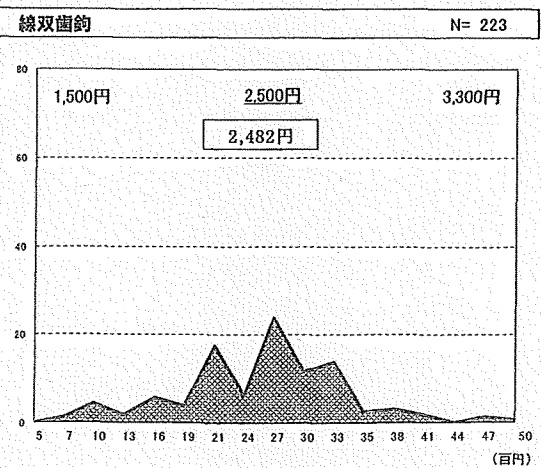
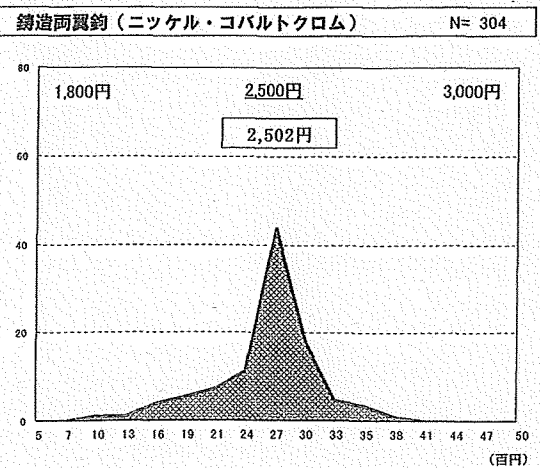
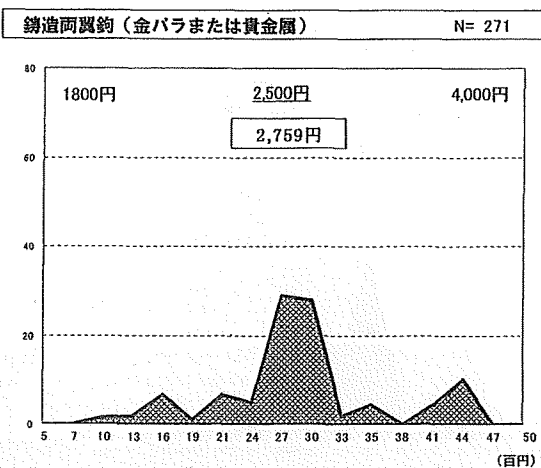
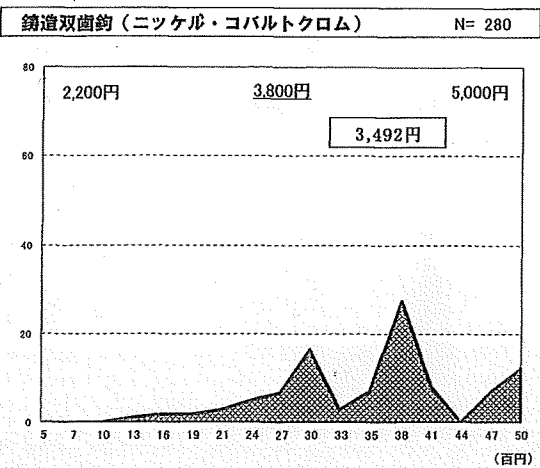
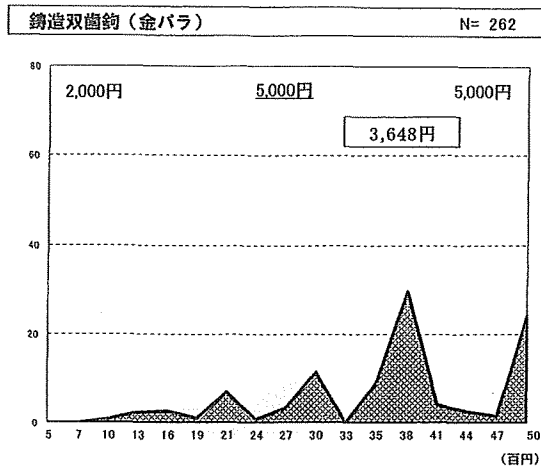
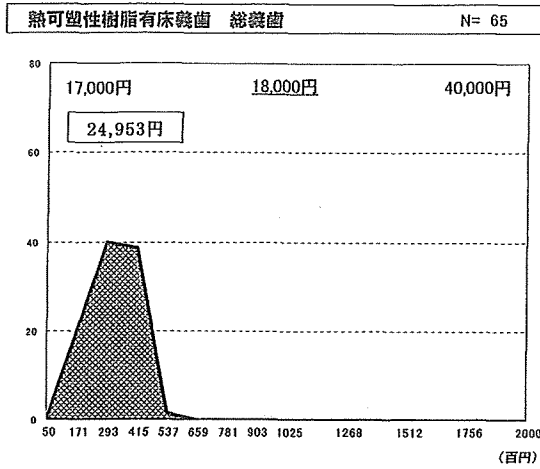
レジン床有床義歯 1歯~4歯 N= 403



3. 製作歯科技工料(保険外)について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

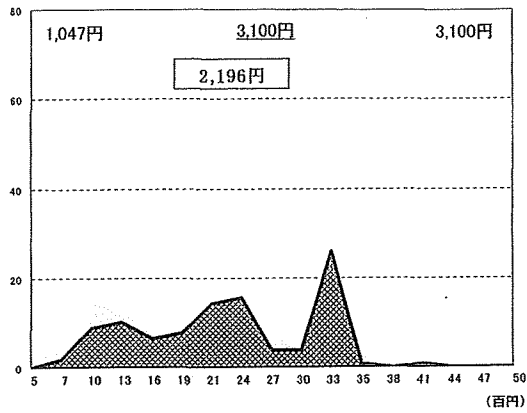


3. 製作歯科技工料(保険外)について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

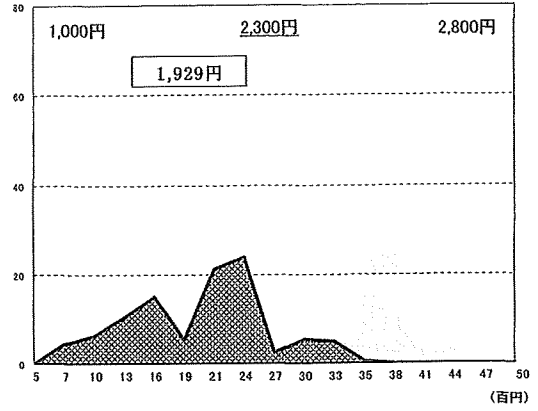


3. 製作歯科技工料(保険外)について(対象歯科技工士数加重平均) (自-問15)

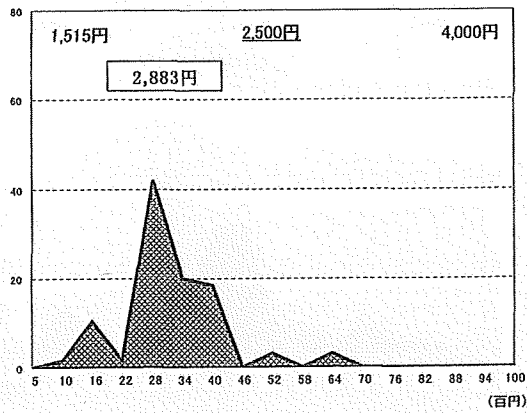
線両翼鉤 (レスト付) N= 231



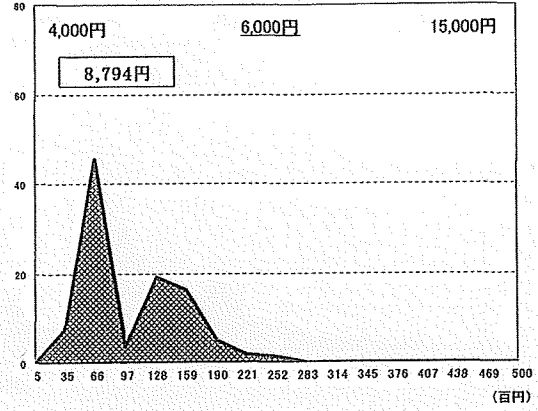
線両翼鉤 (レスト無) N= 222



屈曲バー (特殊鋼) N= 125



鑄造バー (ニッケル・コバルトクロム) N= 288

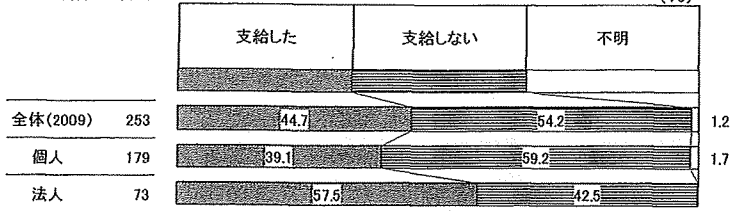


V. 労務状況(事業主・家族専従者以外の従業員雇用の歯科技工所)

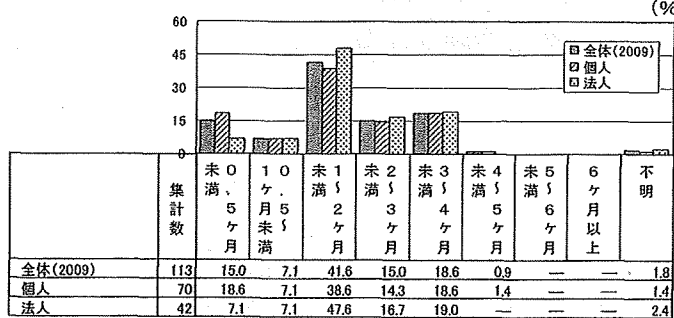
1. ボーナス (自-問17)

- 従業員にボーナスを「支給した」事業所は44.7%であった。
- 個人事業所のボーナス支給事業所割合は39.1%であり、法人事業所では57.5%に及んでいる。
- 年間のボーナス支給月数は「1~2ヶ月未満」がもっとも多く、平均月数は1.8ヶ月になっている。

●支給の有無 (%)



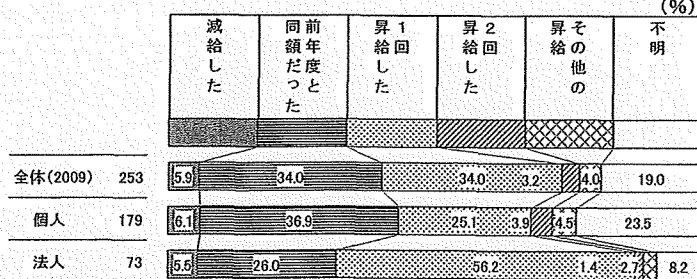
●支給月数 (%)



2. 昇給状況 (自-問18)

- 20年度の昇給状況では、1回以上の昇給があった事業所は約4割であった。
- 個人事業所では法人事業所に比べると、昇給事業所は少なく、前年度と同額に据え置いた事業所の割合が高くなっている。

●昇給の状況 (%)



●昇給率(月給に対して) (%)

